河合塾

● 第３回全統共通テスト模試から見直しておきたい問題

【 問題 】

第3問

問 2 次の図３は，ケッペンの気候区分のうち，温帯の４つの気候区*の分布を示したものであり，後の文章は，図３中の温帯の分布について述べたものである。文章中の空欄カ～クに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～⑧のうちから一つ選べ。 10

*温暖冬季少雨気候，温暖湿潤気候，西岸海洋性気候，地中海性気候。



ウィーン大学の資料により作成。

図３

図３を見ると，ヨーロッパでは高緯度地方でも温帯が分布しているが，これは緯度の割に（ カ ）ためである。また，中央アメリカでは低緯度地方でも温帯が分布しているが，これは緯度の割に（ キ ）ためである。さらに，同じ緯度帯でも東岸と西岸で気候が異なり，カナダの西岸に分布する温帯の気候区が東岸にほとんど分布しないのは，（ ク ）ためである。

カの空欄

a 冬季の気温が高い

b 夏季の気温が低い

キの空欄

c 冬季の気温が低い

d 夏季の気温が低い

クの空欄

e 西岸は海洋の影響を受けやすく，東岸は大陸の影響を受けやすい

f 西岸は大陸の影響を受けやすく，東岸は海洋の影響を受けやすい

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
カ	a	a	a	a	b	b	b	b
キ	c	c	d	d	c	c	d	d
ク	e	f	e	f	e	f	e	f

©Kawaijuku Educational Institution.

【 ポイント 】

正解:①

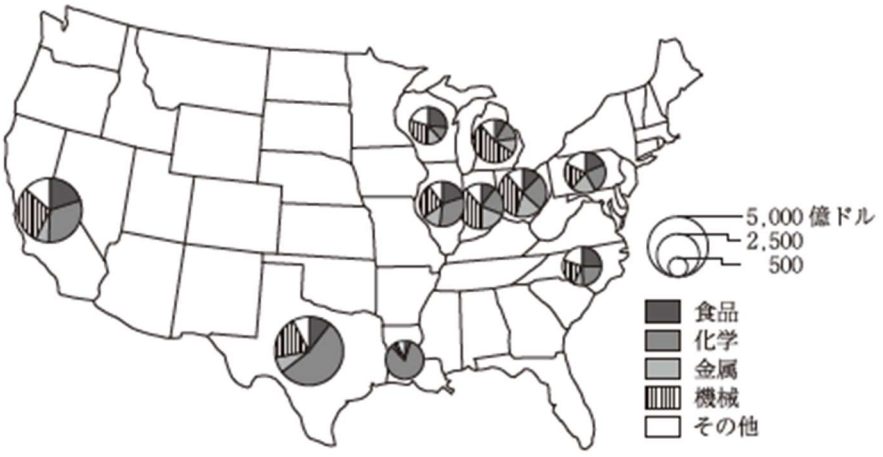
この設問の正答率は 11.0%で、全設問の中で最も低い値でした。最も多かった誤答は③で、67.8%を占めています。カとクは、多くの受験生が正しく判断できていました。ヨーロッパの高緯度に温帯(西岸海洋性気候 Cfb)が分布するのは、暖流の北大西洋海流と、その上を吹く偏西風の影響で、緯度の割に冬季の気温が高いためです(カは a)。カナダでは、西岸は海洋の影響を受けやすく、東岸は大陸の影響を受けやすいため、同じ緯度でも気候が異なります(クは e)。分かれ目になったのはキです。中央アメリカの低緯度に温帯(温帯冬季少雨気候 Cw)が分布するのは標高の高い地域があるためですが、熱帯と温帯の境界は、最寒月平均気温の 18℃で決まります。高地では冬の気温が下がってこの境界を下回るため、キは c の「冬季の気温が低い」が正解です。ところが受験生の 83.1%が、d の「夏季の気温が低い」を選んでいました。ケッペンの気候区分の境界は、植生を制限する要因に対応して引かれています。熱帯の植物を制限するのは、夏の暑さではなく冬の寒さです。逆に、寒帯との境界である最暖月平均気温 10℃は、森林限界に対応します。数値を丸暗記するのではなく、植生との対応で理解しておくことが大切です。

©Kawaijuku Educational Institution.

【 問題 】
第5問

問 3　次の図3は，アメリカ合衆国における州別工業出荷額の上位10州*とその内訳を示したものである。図3について述べた文のうち，下線部が**適当でないもの**を，後の①～④のうちから一つ選べ。 23

*アラスカ州とハワイ州を含まない。



統計年次は2023年。『地理統計』により作成。

図3

① 州別工業出荷額の上位2州は，国内で最も早く工業化が進み，製造業の中心地域を維持してきた。

② 機械工業の割合が最も高い州では，自動車の組立工業が盛んで，輸送用機械工業の割合が比較的高い。

③ 化学工業の割合が5割を上回る州では，付近で産出する原油を利用した石油化学工業が盛んである。

④ 食品の工業出荷額が最も多い州では，ソフトウェアやインターネット関連機器などのICT産業の研究や開発部門も発達している。

【 ポイント 】
正解:①

この設問の正答率は 55.1%でした。上位層の正答率が 84.2%であったのに対して下位層は 28.3%にとどまり、今回の模試の中で、上位層と下位層の差が最も大きい設問です。図の読み取りと、アメリカ合衆国の工業に関する知識の両方が必要でした。①が誤りです。工業出荷額の上位 2 州は、テキサス州とカリフォルニア州です。しかし、アメリカ合衆国の工業化は、北東部のニューイングランド地方で、水力を利用した綿織物工業から始まりました。この 2 州の出荷額が大きくなったのは、石油化学工業や航空宇宙産業、ICT 産業など、20 世紀以降に発達した工業によるものです。②は正しい記述です。機械工業の割合が最も高いのはミシガン州で、デトロイトを中心とする自動車工業のため、輸送用機械工業の割合が高くなっています。③も正しい記述です。化学工業の割合が 5 割を上回るのはテキサス州とルイジアナ州で、メキシコ湾岸の石油資源を利用した石油化学工業が発達しています。④も正しい記述です。食品の工業出荷額が最も多いのはカリフォルニア州です。割合ではなく出荷額である点に注意してください。④を誤りとした受験生が、23.3%いました。

Kei-Net
©Kawaijuku Educational Institution.